

緑友会、明るい未来へ羽ばたく

緑友

全国印刷緑友会
http://www.greenfriend.jp/

今後の行事予定

2008年1月26日(土)
第3回グループ長&常任会
議(大阪)

2008年5月17日(土)
平成20年度 全国印刷緑友会

発行: 全国印刷緑友会
責任者: Y-ING やまなし 情報メディア研究会
井上雅博
編集人: Y-ING やまなし 情報メディア研究会
齊藤理

FAX不要な方はこちらへご連絡下さい
masatomo@kobundo.net

安倍首相辞意表明の翌日に書いてます



全国印刷緑友会 会長
岩重昌勝

みなさんこんにちは。鹿
児島の岩重です。漸く今年
度初のフレンドオブグリー
ンをお届けすることがで
きました。これから一カ年
で6回の発行予定ですが、
発行スケジュールは不定
期となりますのでご容赦
願います。さて金沢総会で
会長に就任して早4ヶ月
が経とうとしております。

金沢総会第1回グル
ープ長常任幹事会、7月の第
一回常任幹事会並びに長
野青年印刷人緑友会創立
50周年式典と東京での新聞
社主催の緑友会創立50周年
記念座談会、8月の第二回
グループ長・常任幹事会と
緑友会創立
50周年東京大会そして9
月に入って第40回東北青年

た多くの方々から言わ
れまして、先輩方も気が
じやなかったんだなあと、
OBになっても気にかけ
ていてくださるんだなあ
と嬉しく思い、反省しま
した。

でも元に戻すしても
財政上潤沢に回復したわ
けじゃありません。回数
元に戻すだけで求心力が
維持されるわけでもござ
いませぬセミナー・大会
総会の開催手法を吟味し
全国の会員に興味を持た
れたい。参加意欲を掻き
立てるものにしてはな
りません。こうして
欲しいというご意見を
どしどし出して下さい。
皆で支え、繋いでいく緑
友会ですから。

「50周年」雑感

長野青年印刷人緑友会
50周年実行委員長 伊藤 博

「緑友会」という名称の
発祥地長野というブレッ
チャーの中、どんな50周
年にすべきか、1年前も前
から実行委員会を組織し
て、悩んで悩んで準備し
てきたけれど、本当にあつ
てきたけれど、1年間、記念
式典テーマがなかなか決
まらない、記念講演会講
師も決まらない、全国へ
のPRはどうしよう、何
回会議を重ねても堂々巡
りの状況が続く...焦燥

を感じる日々。それも今
となつては50周年の良き
思い出、OBの先輩方と
の親睦も深まった、会員
相互の結束も強くなった
次の60周年を任せられる
メンバーも育ってきた?
(そのはず)

記念式典「長野らしき」
は出せたいと思つけれど、
20、30年前と変わらな
い雰囲気? 少し硬かった
でもこれが長野流。式

典テーマ「温故知新」のイ
メージどおりの式典
記念講演会 講師、古
賀稔彦さん! 個人的に
も呼びかけた講師。業
界ネタ、経営ネタ... いろ
いろ考えたけれど、今長
野に必要なのは若手印刷
人を中心に「夢や目標を持
つてチャレンジ精神」を持
つこと。これには同世代
でさわやかで知名度と実
績もある古賀さんしかい
ない。本当に求めてもらえ
た。

文京緑友会50周年



全国印刷緑友会50周年 東京大会を終えて

千代田印刷人新世代
幹事長 安井久治

みなさんこんに
ちは、千代田印刷
人新世代の安井で
す。
全国印刷緑友会50
周年東京大会を終
えてはつとしてお
ります。
顧みれば、安藤
実行委員長を頭に
1年前から準備を
始めましたが、最
初にやった事が緑
友会とはどんな会
なの? から入りま
した。当会も新入
会員が増えて、緑
友会を知らない会
員が殆どでした。
今大会を請けた事につ
いては、第一に緑友会に恩返
しが出来れば良いなと言
う事と、当会も新入会員が増
え、互いの繋がりを深める意
味で行いました。



編集後記

今年来年と周年行事が
とても多い。本会も50周年
と大きな節目を迎えるこ
とができた。有り難いこと
で先人の方々に感謝です。
で、ちょっと見まわして
みると、他団体や企業でも
周年行事が目につく。それ
らを見てみると、効率一
張り、対外療法ばかりだ
と得るものがないと言
うことに気づいたのかな
と思われ。それとも、長
い歴史を保てることには
本能的に知っているんだ
ろうか。効率ばかりで、
周りが見えず、には、陥り
たくはないものだ。
「吾れ、十有五にして学
に志し、三十にして立つ。四
十にして惑む。五十にして
天命を知る。六十にして
耳順がう。七十にして心の
欲する所に従つて、矩を踰
えず。」
孔子のようには行かな
くとも、自分なりの区切り
は大切にしたいものだ。
最後に、小生の力不足
で発行が遅くなつてしま
うことをお詫言します。
(徹熊)

リレーエッセイ 私と緑友会

全国印刷緑友会
総務担当常任 外間政朝
(沖縄県印刷若潮会所属)

私と緑友会との出会いは、私が高校卒業後、12年に亘る東京生活を終え沖縄に戻って間もない頃幼少の頃の友人(当時、資材会社に勤務)の薦めで若潮会の定例会にオブザーバーで参加したのがきっかけでした。

沖縄に戻り、印刷会社に勤めてはありましたが、工務関係の仕事をしていたので、他の印刷会社の皆さんとは面識も無く定例会終了後の飲み会に参加したのがきっかけで今日に至っています。

その後、正式に若潮会に入会し、平成3年に開催した沖縄大会の運営の一部のお手伝いをさせて頂きました。未だ入って間もない頃でしたので諸先輩方の足を引っ張らないように与えられた職務をこなすのに必死でしたが、大会の懇親会終了後全国の皆様から多大な感謝の言葉を頂き若潮会に入会し、沖縄大会に携われ事をたいへん良かったと思っております。

緑友会への思いは沢山ありますが今でも昨日の事のように思い出すのが北九州のスペースワールドで開催された九州山口大会の時の事です。現在は、残念な事に緑友会を退会したのですが長崎青年印刷人の会の皆様との出会いによって深い友情を感じ、緑友会に対する思いも益々深まり、それが原動力となって、平成7年九州山口沖縄大会・平成16年全国大会を開催する事ができたと思います。

最後に平成19年度・平成20年度全国印刷緑友会総務担当として2年間勤めて参りますので、ご指導・ご鞭撻宜しく申し上げます。

しかし、総務チーム會計
チーム・広報チーム・式典講
演チーム・懇親会チームと
分け、それぞれがすばら
しい動きをしてくれたおかげ
で無事に当日を迎えること
が出来ました。
式典から基調講演、そし
て懇親会・アトラクション
と皆様の協力もあり滞り
なく進める事が出来ました。
最後の軌がなるから異例
ではあります。記念撮影も
無事に終わり50年の思いが
ひとつになった瞬間は感無
量でした。
これも全国の皆様が多
数参加して頂いた事、岩重

準備を始めてみると、い
ろんな問題も出てきて、こ
のまま無事に当日を迎えら
れるのか、50年を迎える式
典が無事に終わるのだから
かと心配ばかりで、それで
も当日がどんなに迫って来
る中で焦りも感じておりま
した。
準備を始めてみると、い
ろんな問題も出てきて、こ
のまま無事に当日を迎えら
れるのか、50年を迎える式
典が無事に終わるのだから
かと心配ばかりで、それで
も当日がどんなに迫って来
る中で焦りも感じておりま
した。